

佳作 私だけの花の咲かせ方



ミヨー タンダー トウン
MYO THANDAR HTUN
国 籍 ミャンマー
職 種 電気機器組立て
実習実施者 信和工業株式会社
監 理 団 体 協同組合アイテック

日本語の勉強を始めてから、私はずっと自信が持てなくて、毎日が不安でした。クラス授業で、先生の質問にすぐ答える友達を見、私はいつも焦ってばかりいたのです。「どして自分だけが遅いんだろう」と、一人でえ込むこともありました。教科書を開くの嫌になるくらい、自分の力のなさががっかりしていた時期もありました。

でも、そんな時に私は大切な言葉に出会いました。「花にはそれぞれ咲く季節がある」という言葉です。桜のように春に咲く花もあれば、寒い冬に咲く梅もあります。どの花自分の時期に咲くから美しいのだと教えてもらったのです。その言葉を聞いた瞬間、心がずっと軽くなったのをはっきり覚えています。

人間もきっと同じですね。早く結果を出す人もいれば、私のようにゆっくり実力をためていく人もいます。誰かのスピードと比べて悲しくなるよりも、今の自分ができることを頑張ろうと決めました。

今の私は、毎日寝る前に覚えたばかりの語で日記を書くようにしています。たった一行ですが、昨日よりは確かに前へ進んでいます。前は難しかった漢字が読めるよ

うになったり、聴解が少しわかるようになったりるたびに、自分の中で小さな花が咲いたような気持ちになります。焦っていた時は見えなかった足元の成長が、今はとても嬉しいです。

たとえ今、すぐに結果が出なかったとしても、それは絶対に失敗ではありません。土の中で根を伸ばしている時間も、花を咲かせるためには欠かせないものだからです。コツコツと積み重ねた努力は、いつか必ず私を助けてくれる糧になるはず。誰かの咲かせ方を真似するのではなく、自分だけのペースで、自分だけの色の花を咲かせたい。そのためにも、焦らず笑顔で勉強を続けていこうと決めました。

日本語の道はまだまだ長いけれど、私は私の咲かせ方を信じています。この広い世界で、私というたった一つが存在がどんな花を咲かせるのか、私自身もとても楽しみです。途中で雨が降ったり、風が吹いたりするかもしれませんが、それも全部私が強くなるための経験だと思っています。いつか、私の心の中に誰よりも綺麗な花が咲く日まで、一歩ずつ大切に歩いていきたいです。